

2020年10月24日

危機管理システム研究学会第20回年次大会

「中小企業活性化のための SDGs診断の進め方」

一般社団法人中部産業連盟

理事 主幹コンサルタント

SDGsプロジェクトリーダー

山崎 康夫

SDGsの国内外の広がり

SDGs (Sustainable Development Goals) は持続可能な開発目標と呼ばれ、先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通標語であり、貧困や飢餓、水や保健、教育、医療、言論の自由やジェンダー平等など、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成するという目標になっている。

17のゴール(目標)とそれぞれの下により具体的な169項目のターゲット(達成基準)がある。



モノづくり企業で取り組む SDGsのメリット①

① 企業イメージの向上

SDGsへの取り組みをアピールすることで、多くの人から「この会社は信用できる」、「この会社で働いてみたい」という印象を与え、人材確保につながるなど、企業にとってプラスの効果をもたらす。

② 生き残るための手段

取引先の年々強まる品質・環境面をはじめとするCSRの要求など企業の生存競争はますます激しくなっている。今後は、SDGsへの対応が取引条件になる可能性もあり、持続可能な経営戦略として活用できる。

モノづくり企業で取り組む SDGsのメリット②

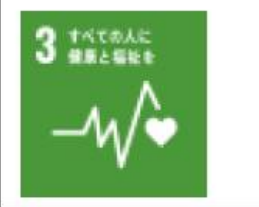



③ 社会の課題への対応

SDGsには社会が抱えている様々な課題が網羅されている。これらの課題への対応は、経営リスクの回避とともに社会への貢献や地域での信頼獲得につながる。





④ 新たな事業機会の創出

SDGsの取組みをきっかけに、地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たな事業の創出などのイノベーションを生むことにつながる。

中産連のSDGsへの取り組み①

	就業時間や休日取得のデータ活用により、全職員の健康増進を図ると同時に福祉の促進をめざします
	全職員に対し、より高い・専門的な教育を推奨し、資金的に支援します <small>※ 四角形の領域切り取り</small>
	多様な人材が活躍できる団体をめざし、ダイバーシティ、女性活躍、高齢者活用の推進に取り組めます
	働きがいのある職場と仕事を通じて、常に新しいことにチャレンジすることにより、コンサルティング・研修機関として、質的な成長を図ります

中産連のSDGsへの取り組み②

 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	コンサルティング・研修機関としてのイノベーションを促進することで、モノづくり企業を中心に常に先進的なテーマを提供していきます
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	コンサルティング・研修機関として、モノづくり企業を中心に持続可能な生産と消費を考慮したライフスタイルを提案するとともに、開発途上国に対しても支援します
 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	一般社団法人として、コンプライアンスを順守することで、説明責任のある透明性の高い団体となり、経済会の模範となるように努めます
 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	官学・他団体・学会・金融機関との連携を積極的に図ることにより、中産連自体の能力を向上させるとともに、モノづくり企業を中心にパートナーシップの提案を積極的に推進していきます

SDGs 診断の特徴

SDGs診断の特徴は、中産連が開発したチェックリストを活用することにより、企業診断を行い、SDGsシステム構築やSDGs戦略構築へと効果的に導きます。

● SDGsシステム構築

- ① 主要な分野ごとにSDGs診断チェックリストで調査実施
- ② SDGsコンパス手法を使った優先課題の提案
- ③ 改善テーマ、期待効果の検討と改善目標値の策定
- ④ SDGs改善活動の実施

● SDGs戦略構築

- ① SDGs戦略構築が進みやすいか、組織風土チェックリストで調査実施
- ② 既存事業・製品・技術をSDGsに関連付けて再定義する
- ③ 関連付けられたSDGs課題の事業性評価を行う
- ④ SDGsに関連した戦略目標、行動計画を策定する

SDGs 診断の分類①

公正な事業慣行

仕入先管理

12.2 天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する

コンプライアンス

16.5 あらゆる形態の汚職や贈賄を大幅に減少させる

情報保護

9.1 質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱なインフラを開発する

社会貢献

12.3 小売・消費レベルにおける食料の廃棄を半減させ、生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる

あらゆる人々の活躍の推進

人権（ハラスメント・女性活躍推進等）

5.5 女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する

10.2 すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する

10.3 機会均等を確保し、成果の不平等を是正する

組織風土

8.8 すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する

働き方改革

5.4 無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する

8.1 一人当たり経済成長率を持続させる

8.5 完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、同一労働同一賃金を達成する

SDGs 診断の分類②

環境(省エネ・再エネ・循環型社会)

水質保全

6.3 汚染の減少、有害な化学物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用により、水質を改善する

廃棄物管理

12.5 廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する

大気保全

11.6 大気の質により、環境上の悪影響を軽減する

温暖化抑制(電気／省エネ)

13.2 気候変動対策を戦略及び計画に盛り込む

防災対策・労働安全

事故・災害の発生

8.8 すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する

快適職場の提供

3.A たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する

安全運転管理

3.6 道路交通事故による死傷者を半減させる

防災

11.b 仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う

SDGs 診断の分類③

顧客・消費者課題

顧客のニーズ・期待の把握、 リスク及び機会

9.2 持続可能な産業化を促進し、雇用及び
GDPに占める産業セクターの割合を
大幅に増加させる

食品安全マネジメント(食品企業の場合)

3.4 非感染性疾患による若年死亡率を減少
させ、精神保健及び福祉を促進する

クレーム対応、インシデント管理、 サプライチェーン

11.a 地域規模の開発計画の強化を通じて、
経済、社会、環境面における都市部、
都市周辺部及び農村部間の良好な
つながりを支援する

成長市場の創出・地域活性化

新商品開発

9.5 イノベーションを促進させることや科学
研究を促進し、技術能力を向上させる

地域活性化

2.3 小規模食料生産者の農業生産性及び
所得を倍増させる
2.4 持続可能な食料生産システムを確保し、
強靱な農業を実践する

SDGs 診断チェックリスト(環境)

SDGs事項				補足事項	○	△	×
No	分類	質問項目	ターゲット				
1	状況の把握	組織の状況及び利害関係者の特定及びニーズの把握は行っているか？	—				
2	環境側面	自社の著しい環境側面を認識、特定しているか？	—				
3	環境方針	トップ自らのリーダーシップのもと環境方針を確立しているか？	—				
4	環境目標	環境方針、環境目標に基づく具体的な活動計画を決定しているか？	—				
5	コミュニケーション	購買先や外注先に対して環境活動の実施を要請しているか？	—				
6	コミュニケーション	自社の環境活動に関わる情報を利害関係者に公表しているか？	12.6				
7	化学物質・有害物	化学物質をSDSに基づき適切に管理しているか？	3.9 6.3 12.4				
8	化学物質・有害物	有害物は適切に管理しているか？	3.9 6.3				
9	省エネ・再エネ	資源エネルギーは管理項目として検討しているか？	7.1 7.2 7.3 12.2				
10	省エネ・再エネ	温室効果ガスは管理項目として検討しているか？	13.1 13.3				
11	省エネ・再エネ	省エネ活動を継続的に行っているか？	13.2 13.3				
12	省エネ・再エネ	大手電力会社以外の再生可能エネルギー販売業者からも電力を購入しているか？	7.2 13.3				
13	廃棄物	廃棄物管理項目は入っているか？	12.4 12.5				
14	廃棄物	プラスチックごみが出ないように、生産活動や取引の際に配慮しているか？	14.1				
15	廃棄物	3R活動を行っているか？また分別排出を適切に行っているか？	12.2 12.5				

SDGs 診断チェックリスト(新市場創出)

SDGs事項				補足事項	○	△	×
No	分類	質問項目	ターゲット				
1	状況の把握	既存事業の長期収益を予想し、組織の長期目標を満たせるか否かを判断しているか？	—				
2	外部環境評価	規制等の政治的要素による事業機会の拡大・縮小可能性を評価しているか？	—				
3	外部環境評価	景気動向や家計吸入の変化による事業機会の拡大・縮小可能性を評価しているか？	—				
4	外部環境評価	社会動向の変化による事業機会の拡大・縮小可能性を評価しているか？	—				
5	外部環境評価	組織の状況の把握、顧客のニーズ・期待を考慮してリスク及び機会を特定しているか？	—				
6	顧客対応	既存顧客のSDGsへの対応状況を把握しているか？	—				
7	競合動向	競合他社のSDGsへの対応状況を把握しているか？	—				
8	ビジョン	自社の経営ビジョンはSDGsの考え方と親和性の高いものになっているか？	—				
9	経営戦略	全社目標の中にSDGsに関連する目標は含まれているか？	—				
10	事業戦略	SDGsの考え方を自社の事業戦略に反映しているか？	—				
11	市場調査	計画的に市場調査を行っているか？	—				
12	市場調査	SDGsの観点から市場調査を行っているか？	—				
13	製品企画	新市場を開拓するために独自性のある製品企画に取り組んでいるか？	—				
14	製品企画	自社保有技術とSDGsを関連づけた製品企画を行っているか？	—				

SDGs 診断プログラム

中部産業連盟 開発SDGs診断チェックリスト活用

なぜ今、SDGsに取り組むべきなのか？

- 政府や自治体だけでなく、民間企業も取り組む機運が高まっている。
- 中小企業にとっても、取引先・投資家の信頼を得られる。
- さらに、企業イメージの向上・新たな事業に取り組むきっかけになる。

対象企業

- 当社でも取り組めるSDGsの目標を知りたい。
- SDGsに取り組みたいけれど、何から始めたら良いかわからない。
- 今現在、当社のSDGsの取り組みを外部機関に評価してもらいたい。

SDGs診断の実施内容

- ① 中産連開発のチェックリストを活用し、ヒアリング調査を実施します。
- ② 調査結果を分析し、取り組むべき優先課題を策定します。
- ③ 簡易診断結果を報告します。

SDGs 診断の実施

愛知県：食品メーカー：A社

- ・診断実施日：2019年12月25日 診断員：山崎、岩崎、岡部
- ・診断報告日：2020年 2月25日

愛知県：自動車部品メーカー：B社

- ・診断実施日：2020年 2月27日 診断員：橋本、山崎、岩崎
- ・診断報告日：2020年 4月予定

愛知県：自動車部品商社：C社

- ・診断実施日：2020年 6月25日 診断員：岩崎、岡部
- ・診断報告日：2020年 7月28日

SDGs 診断の事例：A社

No.	テーマ	時間
1	ご挨拶 SDGs 診断のご説明、会社のご説明	9:30-9:45
2	本社・工場 プリーフツアー 事務所、3F、2F、1F、倉庫、外回り (3Fと1Fは窓からの見学)	9:50-10:30
3	トップインタビュー ・経営理念、経営方針について ・お客様、従業員、協力会社について	10:40-11:20
4	診断パート1 【顧客・消費者課題】 ・顧客満足、クレーム対応、営業・開発活動 など 【新市場の創出・地域活性化】 ・製品、事業開発、地域活性化 など	11:30-12:10

* インタビューした方は、
社長、営業責任者、品質管理責任者
製造責任者、事務責任者の5名

No.	テーマ	時間
5	診断パート2 【公正な事業慣行】 ・コンプライアンス、仕入れ管理、情報保護 など 【あらゆる人々の活躍の推進】 ・雇用、働き方、差別解消、ハラスメント、教育 など	13:00-13:40
6	診断パート3 【環境】 ・省エネ、再エネ、廃棄物、LCA など 【防災・労働安全】 ・防災対策、労働安全衛生、心の健康 など	13:50-14:30
7	事後打合せ * 報告会の概要について	14:40-15:00

SDGs 診断の事例：C社

SDGsへの取り組みコミットメント～活動開始

C社の社長はSDGsへ取り組むことを社内外にコミットメント、2020年1月より具体的な活動をスタート

中産連SDGs診断への申し込み

SDGsへの取り組みについて現在、自社はどのような状況にあるのか、取り組みは適切なのか、更なる浸透を進めるためにどのような事を進めればよいのか、を第三者視点で見てもらいたいとの意向より、診断を申し込み

SDGs診断実施

社長、役員により、経営理念、事業戦略、業務内容、CSR取り組みなど、診断項目に基づきヒアリング

SDGs診断報告会

社長、役員、部門責任者が臨席のもと、診断員から診断結果の概要：SDGs目標169ターゲットへの取り組み状況等の診断結果報告、及び今後のマネジメント・事業活動への更なる反映・浸透に向けてアドバイス

SDGs システム構築・戦略構築

SDGs システム構築の手順

SDGs 診断チェックリストを利用した
現状調査

SDGs コンパスの手法に従った
優先課題の提案

改善テーマ、期待効果の検討と
改善目標値の策定

診断報告書を作成し、経営幹部・関係者への
報告会実施

SDGs の改善活動
コンサルティング支援

診断

改善

SDGs 戦略構築の手順

既存事業・製品・技術をSDGsに
関連づけて再定義する

関連づけられたSDGs課題の
事業性評価（F/S）を行う

重要成功要因を特定して
自社での最適な対応を検討する

SDGsに関連した戦略目標を
設定する

実行における基本方針を定めて
行動計画を策定する

SDGs 導入の成果

SDGs を導入することは、江戸時代の近江商人が生み出した「三方よし」の考え方に近い。

- 売り手（自社）よし
- 買い手（直接顧客、消費者）よし
- 世間（仕入先、協力業者、地域社会）よし

SDGsの導入で、以下の成果が得られる。

- 直接顧客および消費者より好印象を受ける
- サプライチェーンとしての活動により、仕入れ先などとコミュニケーションが密接になる
- 従業員がSDGs活動に対して誇りを持つ